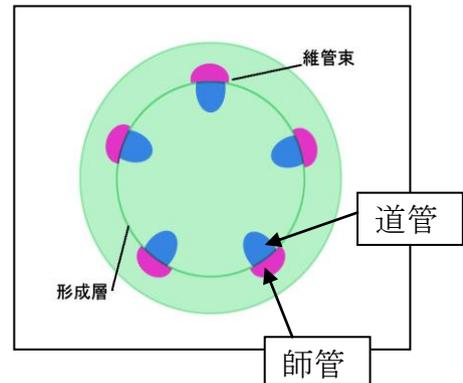


道管と師管の違いについて

兵庫県立神戸高等学校自然科学研究会生物班
松並結女 村上天太 松井千佳

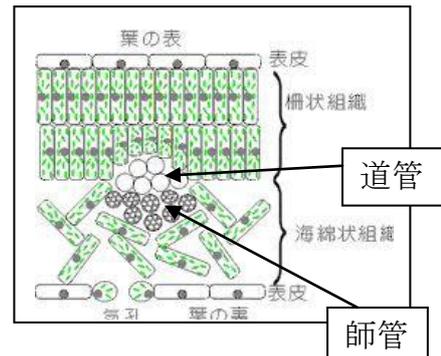
☆道管とは

被子植物の体に水分を運ぶ役割をしている。道管は細胞死を一方向に連続して起きることで形成される。細胞死とは利益を得るために要らない細胞をわざと殺すことである。そうして強度を上げ、植物の体を支える、動物にとって骨のような役割も果たしている。



☆師管とは

植物の光合成によって作られた栄養分を運ぶ役割をしている。茎の部分では道管を囲むように外側に、葉の部分では道管の下側に位置している。道管は死んだ細胞で作られているが、師管は生きた細胞でできている。



☆葉脈標本が上手くできれば、それを2枚に裂くことができる。

表側が道管、裏側が師管である。道管の方が師管より多いのは、見てすぐにわかるくらい差がある。裏側は特に薄いので、はがすのが非常に難しい。でも、もっと植物の体について理解する為に、ぜひみんなで挑戦してみよう！



師管

道管